



# 2023年3月期 第3四半期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2023 THIRD QUARTER FINANCIAL RESULTS

2023年2月10日  
マツダ株式会社



MAZDA MOTOR CORPORATION

- 本日は当社の決算説明会にご参加いただきありがとうございます。

## 本日の説明内容

- 2023年3月期 第3四半期累計 実績
- 2023年3月期 通期 見通し
- まとめ

- 本日の説明内容をご覧の通りです。

# 2023年3月期 第3四半期累計 実績

- 2023年3月期 第3四半期累計の実績についてご説明いたします。

## 2023年3月期 第3四半期累計 台数実績

(千台)	2023年3月期			対前年増減		
	上期	第3四半期	第3四半期累計	上期	第3四半期	第3四半期累計
生産台数*	503	306	✓ 809	+37	+31	+68 ✓ +9%
連結出荷台数	450	287	✓ 737	-30	+80	+50 ✓ +7%
グローバル販売台数						
日本	68	39	107	+8	+4	+13 +14%
北米	181	107	287	-68	+23	-45 -13%
欧州	67	41	108	-40	+1	-39 -26%
中国	49	23	72	-40	-21	-62 -46%
その他市場	150	70	220	-7	+4	-3 -1%
合計	514	281	✓ 795	-146	✓ +11	-135 ✓ -15%
米国	133	80	213	-57	+20	-37 -15%
オーストラリア	44	22	66	-12	+4	-8 -10%
ASEAN	46	16	62	+14	-6	+8 +15%

MAZDA MOTOR CORPORATION

※月次公表ベース(中国を含むグローバル生産台数/OEM受給車両は含まない)

4

- 台数実績です。
- 生産台数は、対前年9%増の80万9千台、
- 連結出荷台数は、対前年7%増の73万7千台、
- グローバル販売台数は、対前年15%減の79万5千台となりました。
- 生産台数・連結出荷台数ともに着実に改善し、前年実績を上回りました。
- グローバル販売台数は上期の減産影響もあり9か月累計では前年を下回りましたが、第3四半期の3か月では北米を中心に改善が進捗し対前年で台数増となりました。

## 2023年3月期 第3四半期累計 財務指標

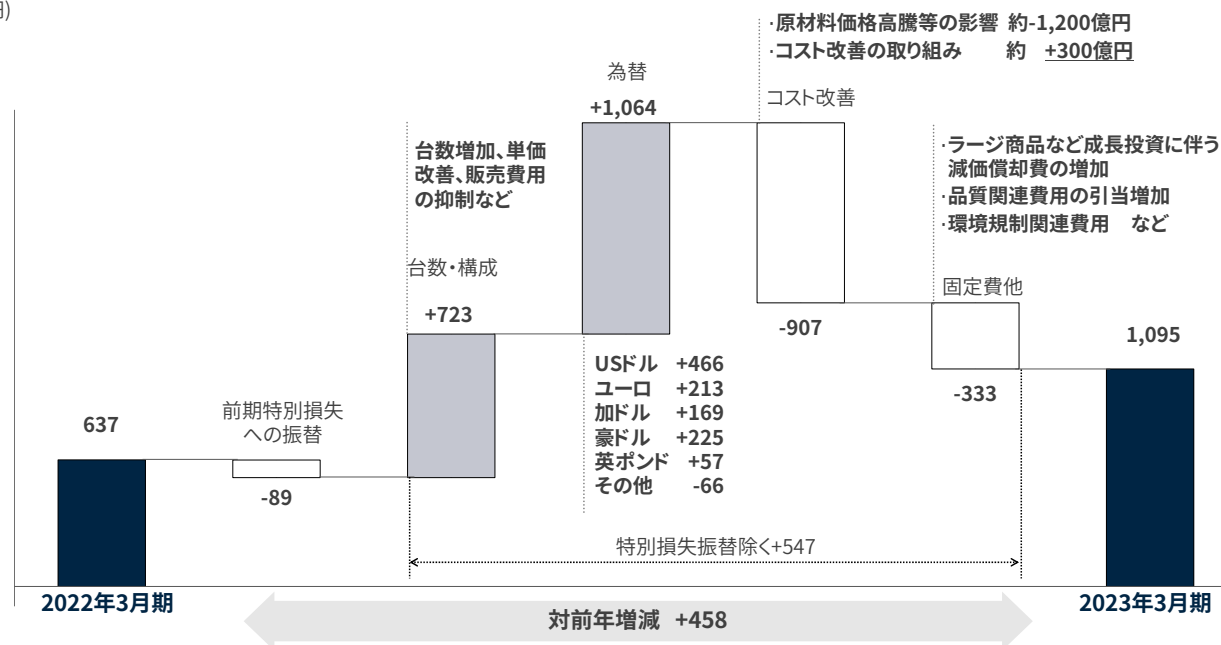
(億円)	2023年3月期			対前年増減		
	上期	第3四半期	第3四半期累計	上期	第3四半期	第3四半期累計
売上高	16,425	10,538	✓ 26,963	+1,466	+3,873	+5,339 ✓ +25%
営業利益	552	543	✓ 1,095	+155	+303	+458 ✓ +72%
経常利益	1,104	250	1,354	+765	-7	+758 +127%
税引前利益	1,093	131	1,224	+734	-19	+715 +140%
当期純利益	859	177	✓ 1,036	+620	+122	+742 +252%
売上高営業利益率	3.4 %	5.1 %	✓ 4.1 %	+0.7 pts	+1.5 pts	+1.2 pts
EPS (円)	136.3	28.1	164.4	+98.4	+19.3	+117.7
為替レート (円)						
USDドル	134	141	137	+24	+28	+25
ユーロ	139	144	141	+8	+14	+10

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

- 続いて財務指標についてご説明します。
- 売上高は、対前年25%増の2兆6,963億円、営業利益は対前年72%増の1,095億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、1,036億円となりました。
- 為替レートは、USDドルは大幅な円安ドル高の影響により前年から25円円安の137円、ユーロは前年から10円円安の141円でした。
- 連結出荷台数の増加や、単価改善・販売費用抑制などの取り組みに加え、為替の円安による増益効果もあり、原材料価格高騰の影響をオフセットしました。
- 対前年で増収増益となり、ROSは4.1%に改善しました。

## 2023年3月期 第3四半期累計 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



MAZDA MOTOR CORPORATION

6

- 第3四半期累計の営業利益変動、458億円の内訳をご説明します。
- 台数構成は、台数増加、単価改善や販売費用抑制などにより723億円の増益要因、
- 為替は、USDドルを中心に大幅な円安が進んだことにより1,064億円の増益要因、
- 変動コスト領域は、約300億円規模のコスト改善の取り組みを行っているものの、原材料価格や物流費の高騰等1,200億円レベルの減益影響があり、合わせて907億円の減益要因です。
- 固定費他の領域では、ラージ商品などの成長投資に伴う減価償却費の増加や、品質費用の引当増加、環境関連費用増加などの影響により、対前年で333億円の減益要因となりました。

# 2023年3月期 通期 見通し

- 続きまして、2023年3月期 通期見通しについてご説明いたします。

## 2023年3月期 通期 台数見通し

(千台)	2022年3月期		2023年3月期		対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期
連結出荷台数	991	✓ 1,087	+96	+10%	✓	-13	
グローバル販売台数							
日本	149	173	+25	+17%		-8	
北米	439	421	-18	-4%		-22	
欧州	190	173	-17	-9%		-2	
中国	170	89	-81	-48%		-21	
その他市場	303	307	+4	+1%		+1	
合計	1,251	✓ 1,163	-88	-7%	✓	-52	
米国	332	313	-19	-6%		-23	
オーストラリア	103	95	-8	-8%		+1	
ASEAN	78	85	+6	+8%		-2	

MAZDA MOTOR CORPORATION

8

- 連結出荷台数の通期見通しは、11月公表に対して1万3千台減の108万7千台、
- グローバル販売台数は11月公表に対して5万2千台減の116万3千台の見通しです。
- 半導体調達不足や輸送船不足などの影響を反映し、11月公表値から計画を見直しました。



## 2023年3月期 通期 財務指標

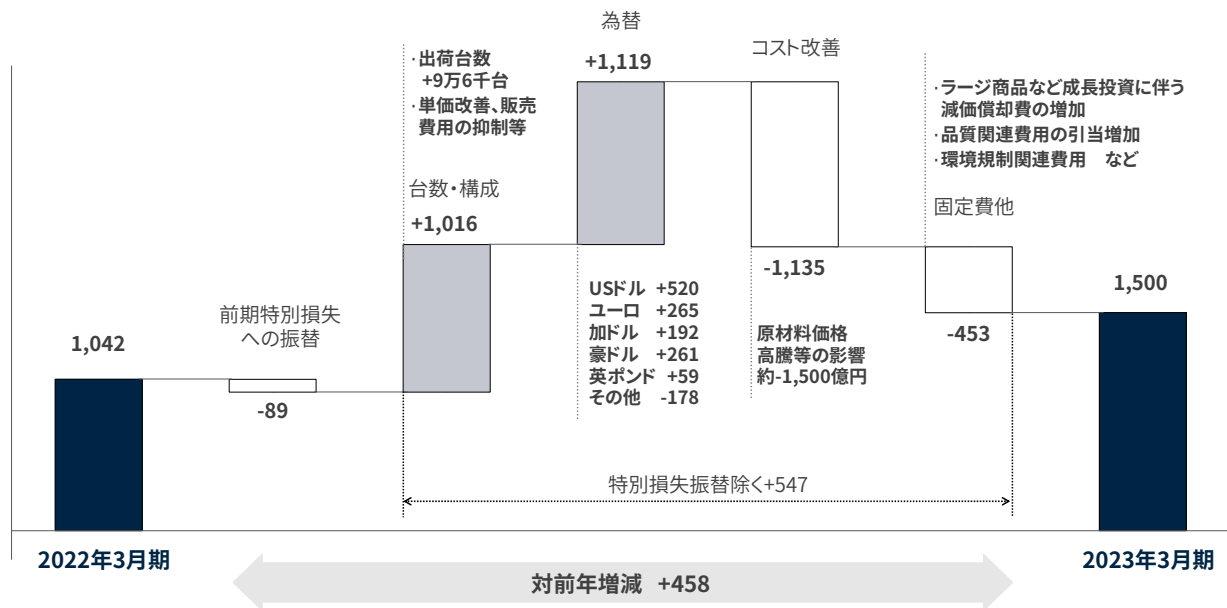
(億円)	2022年3月期		2023年3月期		対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期	通期	通期	通期	通期
売上高	31,203	✓39,000	+7,797	✓+25%	0		
営業利益	1,042	✓1,500	+458	✓+44%	+100		
経常利益	1,235	1,750	+515	+42%	+50		
税引前利益	1,124	1,600	+476	+42%	+100		
当期純利益	816	✓1,400	+584	✓+72%	+100		
売上高営業利益率	3.3 %	3.8 %	+0.5 pts		+0.2 pts		
EPS (円)	129.5	222.2	+92.7		+15.8		
為替レート (円)							
USD	112	134	+22		-2		
ユーロ	131	140	+9		+1		

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

- 財務指標についてご説明します。
- 売上高は、対前年25%増の3兆9,000億円、営業利益は対前年44%増の1,500億円、親会社株主に帰属する当期純利益は対前年72%増の1,400億円に見直しました。
- 11月公表対比では出荷台数減少と原材料価格高騰の影響を、単価改善の進捗等によりオフセットし、通期見通しを上方修正いたします。
- 通期の為替前提は、USDを134円、ユーロを140円としております。

## 2023年3月期 通期 営業利益変動要因(対前年比較)

(億円)



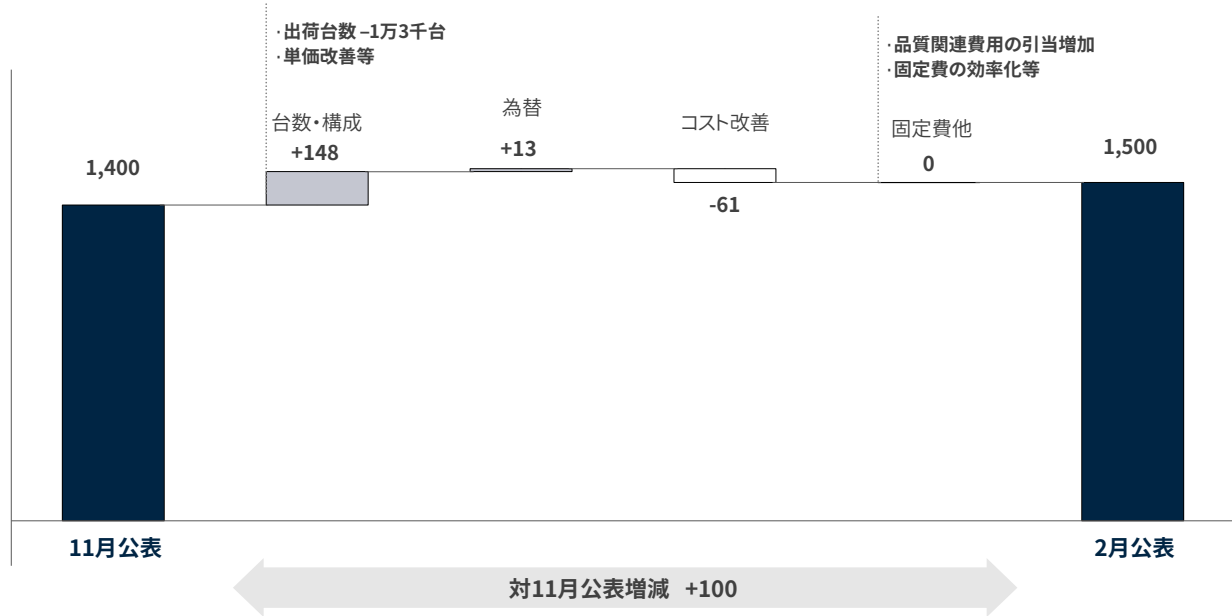
MAZDA MOTOR CORPORATION

10

- 通期営業利益の対前年変動、458億円の内訳を説明いたします。
- 台数構成は、連結出荷台数の増加や単価の改善、販売費用の抑制などにより1,016億円の増益要因、
- 為替はUSDドルを中心に前年から大幅な円安となる前提を反映し1,119億円の増益要因、
- 変動コスト領域では、原材料価格の高騰等による減益影響は1,500億円レベルとなる見込みです。コスト改善により約400億円オフセットする計画ですが、トータルでは1,135億円減益要因となる見通しです。
- 固定費他の領域では、ラージ商品や米国工場など成長投資に関連する減価償却費の増加や、品質関連費用の引当増加、環境規制関連費用の増加などにより453億円の減益要因となる見込みです。

## 2023年3月期 通期 営業利益変動要因(対11月公表比較)

(億円)



MAZDA MOTOR CORPORATION

11

- 11月公表からの営業利益の改善 100億円の内訳についてご説明します。
- 台数構成は、連結出荷台数の減少により減益影響があるものの、単価改善の進捗等により148億円の増益要因となる見込みです。
- 為替は、ほぼ変動ありません。
- 変動コスト領域は、原材料価格高騰などの影響を反映し61億円の悪化要因です。
- 固定費他の領域では、品質関連費用の引当増加の影響はあるものの、固定費の効率化等によりオフセットし変動無しの見通しです。
- 以上の要因により、通期営業利益は11月公表対比で100億円増の1,500億円となる見通しです。

## まとめ

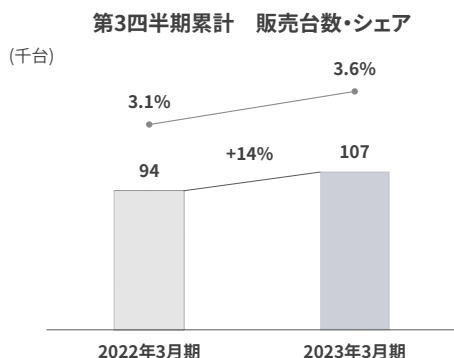
- 第3四半期累計実績は対前年で増収増益を達成  
連結出荷台数の増加、単価改善・販売費用抑制などの取り組み、  
為替の円安効果などにより原材料価格高騰の影響をオフセット
- 10～12月は生産・出荷・販売台数ともに対前年で増加  
生産台数は30万台以上に回復
- 通期利益見通しを上方修正  
営業利益1,500億円、当期純利益1,400億円
- 生産のさらなる回復に取り組むとともに、在庫活用により出荷を促進  
引き続きお客様へいち早く商品をお届けするべく取り組む

- 今決算の実績は、為替の円安効果だけでなく、単価改善・販売費用抑制などの取り組みにより稼ぐ力の改善が着実に進み、増収増益を達成できたものと受け止めています。
- 生産の制約のある中で、一台でも多く商品をお客様にお届けすべく生産・販売をはじめ全領域で取り組んだ結果、10月から12月の3か月間では生産・販売・出荷ともに前年を上回りました。
- 通期見通しについては、11月見通しから上方修正し営業利益1,500億円、親会社株主に帰属する当期純利益1,400億円の見通しとしています。
- 引き続き、計画の達成に向けて、生産のさらなる回復や在庫活用による出荷促進を図ってまいります。
- この第3四半期の末からは、ラージ商品の第2弾となるCX-90の生産が始まりました。今後北米市場を中心にマツダの成長を牽引する新たなフラッグシップモデルです。
- 新商品を含め、マツダのクルマをお待ちのお客様にいち早く商品をお届けできるよう、引き続きマツダグループをあげて取り組んでまいります。



添付

## 日本



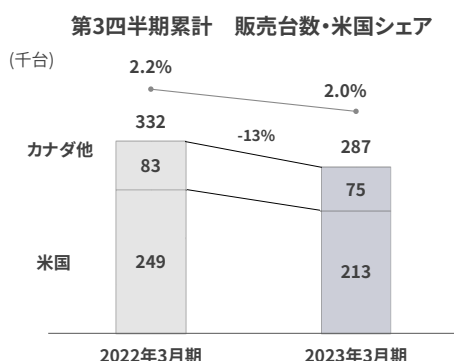
■ 第3四半期3か月間の販売台数は対前年13%増、第2四半期に続き、前年を上回る販売を継続

■ 第3四半期累計の販売台数は、対前年14%増の10万7千台、シェアは対前年0.4pts増の3.6%、登録車シェアは同0.8pts増の4.7%

■ 新商品のCX-60に加えて、CX-5とロードスターが対前年で販売台数およびシェアの増加を牽引

■ CX-60は9月以降6千台を販売、12月末時点で受注残は1万台、12月以降新たなパワートレインを追加し、第4四半期はさらなる台数貢献を見込む

## 北米



### ■ 米国:

- 第3四半期3か月の販売台数は対前年34%増、第2四半期対比でも10%の販売増、販売パフォーマンスは改善傾向
- CX-50の純増に加えてCX-5・CX-30・CX-9などが販売台数増加に貢献
- 第3四半期累計の販売台数は、対前年15%減、シェアは対前年0.2pts減の2.0%
- 2023年1月 新型クロスオーバーSUV CX-90を発表。2023年春より販売開始

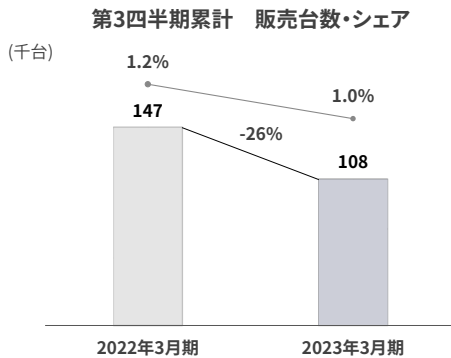
### ■ カナダ:

- 第3四半期累計は対前年22%減の3万7千台

### ■ メキシコ:

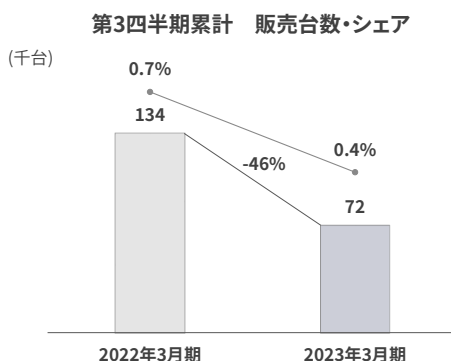
- 第3四半期累計は対前年8%増の3万7千台
- 好調なMAZDA2が販売を牽引

## 欧州



- 第3四半期3か月間の販売台数は対前年3%増、MAZDA2 Hybridや今期導入したCX-60など電動化モデルの純増効果もあり対前年で改善
- 第3四半期累計の販売台数は、対前年26%減の10万8千台、シェアは対前年0.2pts減の1.0%
- ロシア/ウクライナの販売減少及び上期の減産影響などにより販売台数減少
- CX-60は7月以降1万3千台を販売、12月末時点の受注残は1万1千台
- 主要国の販売(第3四半期累計)
  - ドイツ:対前年19%減の2万5千台
  - 英国:対前年10%減の1万8千台

## 中国



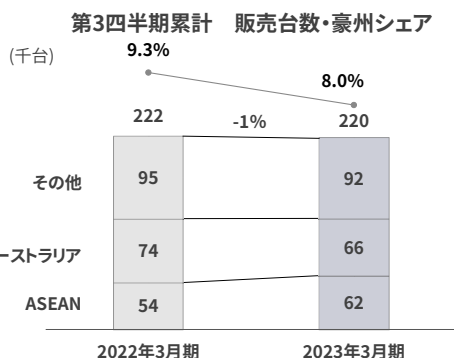
- 第3四半期3か月間の販売台数は対前年48%減
- 第3四半期累計の販売台数は、対前年46%減の7万2千台、シェアは対前年0.3pts減の0.4%
- 主要モデルサイクルの一巡に加え、ロックダウンに伴う減産影響および販売活動の制限などにより対前年で販売台数減少
- 価格競争からは一定の距離を置き、引き続き販売ネットワークの強化に注力

## その他市場

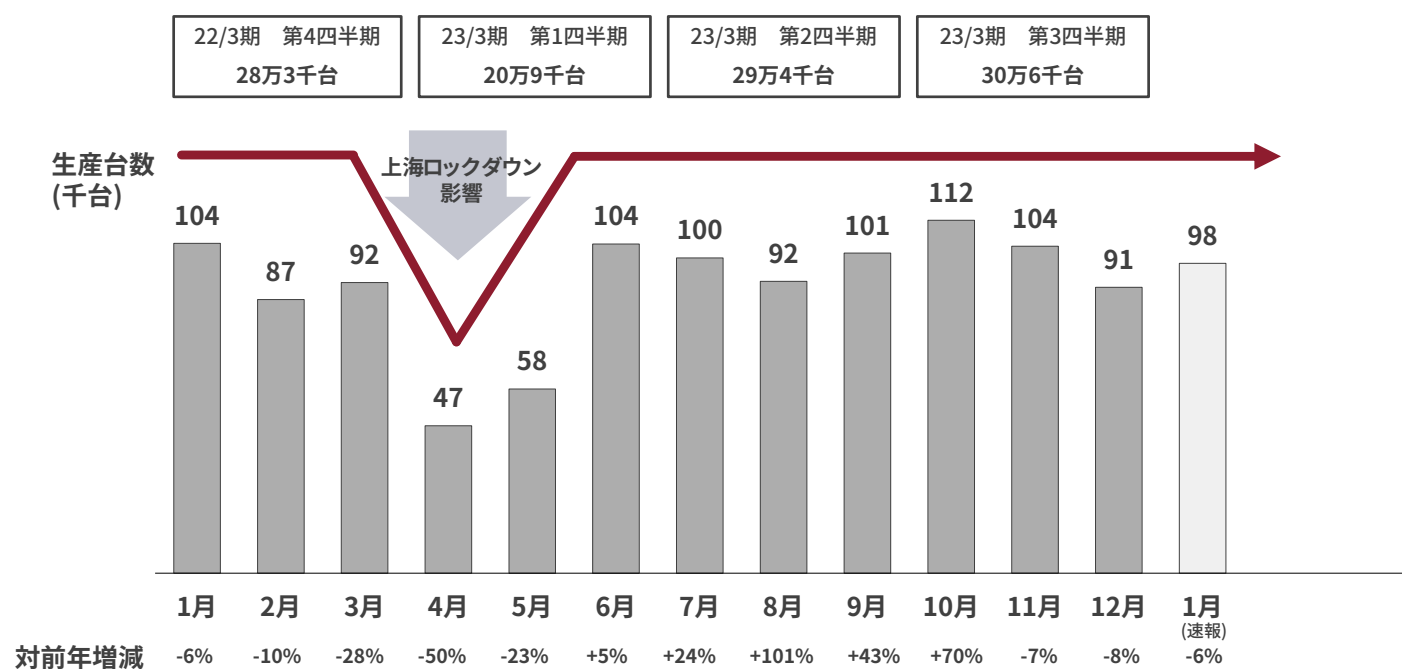


MAZDA CX-5

- 第3四半期3か月間の販売台数は対前年6%増
- 第3四半期累計の販売台数は対前年1%減の22万台
- オーストラリア:
  - 第3四半期の3か月間では、第2四半期に続き前年を上回る販売を継続
  - 第3四半期累計の販売台数は対前年10%減の6万6千台、シェアは対前年1.3pts減の8.0%
  - 上期の減産影響などにより販売台数減少
- ASEAN:
  - 第3四半期累計の販売台数は対前年15%増の6万2千台、タイは対前年16%減の2万台、ベトナムは対前年60%増の2万4千台



## 生産台数について



※月次公表ベース(中国を含むグローバル生産台数/OEM受給車両は含まない)



## キャッシュ・フロー及びネット・キャッシュ

(億円)	2022年3月期	2023年3月期	対前期末増減
	通期	第3四半期累計	
営業キャッシュ・フロー	1,892	497	-
投資キャッシュ・フロー	-1,362	-717	-
フリー・キャッシュ・フロー	529	-220	-
現金及び現金同等物	7,404	7,579	+175
有利子負債	6,808	7,233	+425
ネット・キャッシュ	596	346	-250
総資産	29,681	31,865	+2,183
自己資本	13,011	13,909	+898
自己資本比率	44 %	44 %	0 pts

## 2023年3月期 第3四半期 グローバル販売台数及び連結出荷台数(3ヵ月)

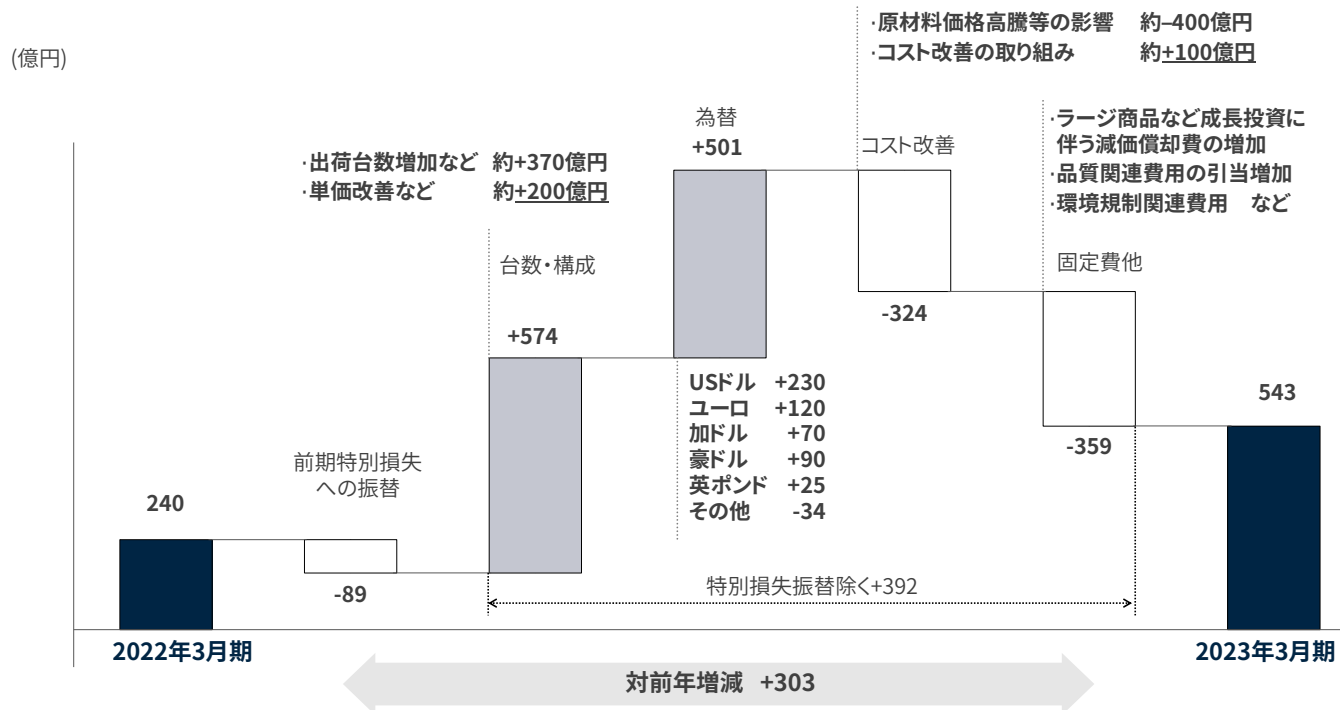
(千台)	2022年3月期	2023年3月期	対前年増減	
	第3四半期	第3四半期	第3四半期	
グローバル販売台数				
日本	35	39	+4	+13%
北米	84	107	+23	+27%
欧州	40	41	+1	+3%
中国	45	23	-21	-48%
その他市場	66	70	+4	+6%
合計	270	281	+11	+4%
米国	60	80	+20	+34%
オーストラリア	18	22	+4	+24%
ASEAN	23	16	-6	-28%
連結出荷台数				
日本	35	41	+6	+17%
北米	75	119	+45	+60%
欧州	32	45	+13	+39%
その他市場	65	82	+17	+26%
合計	207	287	+80	+39%
米国	54	92	+38	+69%

## 2023年3月期 第3四半期 財務指標(3ヵ月)

(億円)	2022年3月期	2023年3月期	対前年増減	
	第3四半期	第3四半期	第3四半期	
売上高	6,665	10,538	+3,873	+58%
営業利益	240	543	+303	+127%
経常利益	257	250	-7	-2%
税引前利益	150	131	-19	-13%
当期純利益	55	177	+122	+218%
売上高営業利益率	3.6 %	5.1 %	+1.5 pts	
EPS (円)	8.8	28.1	+19.3	
為替レート (円)				
USDドル	114	141	+28	
ユーロ	130	144	+14	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示す

## 2023年3月期 第3四半期 営業利益変動要因(対前年比較)



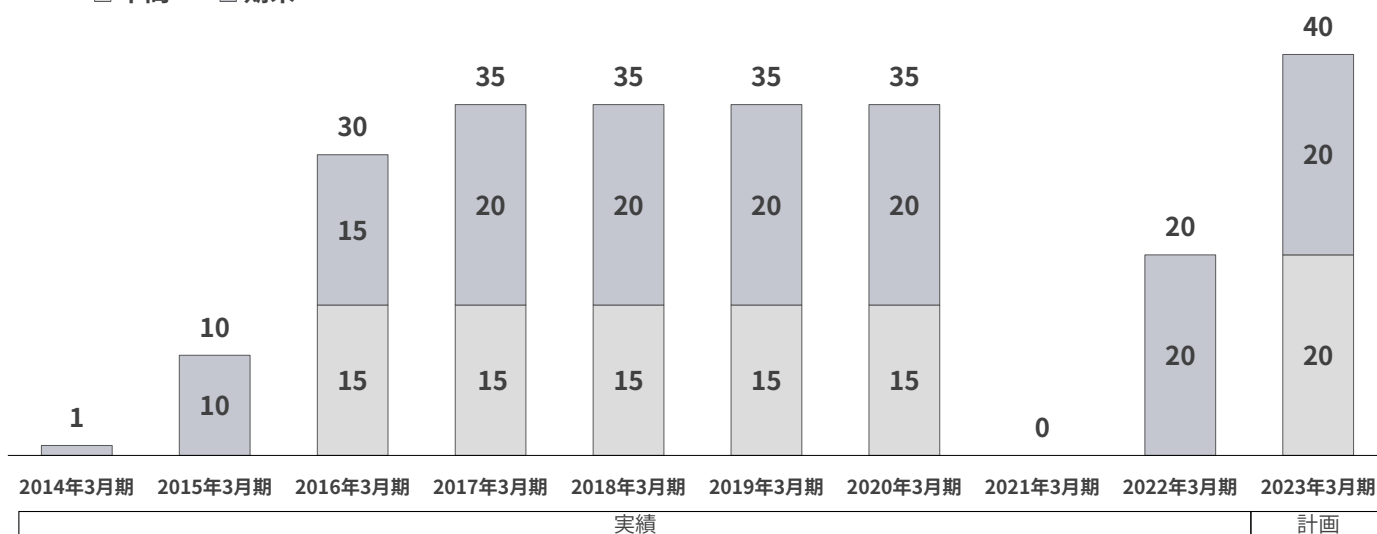
## 為替レート

(円)	2023年3月期					対前年 増減					対11月公表増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
USDドル	130	138	141	128	134	+20	+28	+28	+11	+22	-2
ユーロ	138	139	144	138	140	+6	+9	+14	+7	+9	+1
カナダドル	102	106	104	95	102	+13	+19	+14	+3	+12	-1
オーストラリアドル	93	95	93	89	92	+8	+14	+10	+4	+9	0
英ポンド	163	163	166	156	162	+10	+11	+13	0	+8	+2

## 配当について

### 一株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末



注) 2014年8月1日付で普通株式について5株を1株の割合で株式併合を行っております。  
一株当たり配当金は各年度における実際の配当金額を表しています。

## 将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。